

「町長と話そう、まち育て」タウンミーティング 第2回議事要旨
中原小学校 PTA

日 時：令和4年8月29日（月）18時00分～

場 所：みやき町庁舎・防災センター

テーマ：・中原小学校にて行った交通安全に関するアンケート結果に基づいた、交通安全対策
施策の情報共有
・第三次みやき町総合計画にて述べられているまちづくりの基本理念について
・児童や保護者に関する保険制度に関しての一元管理について」

出席者：中原小学校 PTA 4名

町長、副町長、教育委員会事務局長、学校教育課、総務課、総合政策課（事務局）

● 次第

1. 開会
2. 自己紹介
3. 注意事項
4. 議題

（事務局）

今回のテーマについて中原小学校 PTA から説明をお願いします。

（PTA①）

まず1番目に中原小学校で実施した交通安全に関するアンケートの情報共有です。2番目に、第三次みやき町総合計画に述べられているまちづくり基本構想について、3番目に、児童や保護者に関する保険制度に関しての一元化についてです。

（PTA②）

それではテーマごとで、説明します。今年も交通安全に関するアンケートを実施しました。結果として、道幅に関する意見と走行車両に関する意見が突出しており、半数以上が危ないと思っていますと回答がありました。

アンケート結果から今年は21箇所、危険個所の資料を作りました。その中で、保護者から強い要望があった場所が5箇所あります。1箇所目は県道から中原中学校に上がっていく線路沿いの道の交差点で、線路の下に通れる道があり、小学生が通っています。交通安全だけではなく、不審者が潜みやすくなっていますので、何らか対策が行えないかと考えています。次に、アスタラビスタみやき店の横の県道です。また、旧長崎街道は抜け道になっていますので、車のスピードがあり危険度は高いと思います。それと、坂本ストアの横の南北の道です。子ども達が通るのが電車の時間と重なり、ちょうど混雑する時間帯ですので、危険だと思います。最後の場所は、アザレア前の道、学校側に出るところの道幅が狭くなっているの、見通しが非常に悪いです。以上のような場所がありますので、回答できることがあればお願いします。また、要望は地区要望書を区長さんから総務課に提出して、総務課から各課に采配していくと思いますが、もっとスムーズなやり方があれば教えていただきたい。

（職員①）

まず、アザレア前の道について、対策としては令和3年度の通学路合同点検を実施した際に、道の北側にカラー舗装を塗り直しています。また、令和2年度に看板を設置して、注意喚起しています。次に、アザレア前の道の学校側に出るところ、角の電柱が立っている隅切りの部分を今年度、建設課で用地買収する計画があり、現在、電柱の移転について協議しています。次に、県道から線路の横を通過して、中原中に上っていく道で、線路の高架下を北に行くところの交差点についてです。対策としては、南北の道には「止まれ」の路面標示にカラー舗装を実施しています。線路の高架下のあたりはJRの敷地ですので、町として直接的な対策は難しいですが、要望があれば、注意喚起の看板は手前に立てられると思います。

(PTA①)

その道は中原中に上がっていくときに狭くなっている部分があり、対向車とすれ違う際に危ないところですので、線路側に拡幅できないかという要望もありますが、JRの土地で、拡幅は難しいと聞いています。

(職員①)

町としては、子どもたちのことですので、できることは取り組んでいきたいと思っています。

(職員②)

交通安全対策全般的な基準等を簡単にお知らせします。停止線や横断歩道等は、県公安委員会が管理しているため、町で塗装ができません。あくまでも県公安委員会に要望するしかありませんので、ご理解いただければと思います。町では、道路に通学路の路面表示やカラー舗装は実施できません。また、信号機の設置は、警察庁の厳しい基準があり、新規設置が難しい状況です。風の子保育園の前の交差点も、要望はしていますが、実現していません。しかし、要望を続けることが大切かと思っております。地区要望があれば、交差点にプリンカーフラッシュという点滅信号のようなものを設置することはできます。ただ、光が強いため、近所の方の了承が必要です。

(PTA①)

中原小学校の校門の前にバンプの設置は難しいですか。

(職員③)

バンプを設置すると車が通るときに大きい音がなりますので、近隣の方の承諾が必要です。

(PTA①)

校門の前に毎朝旗当番で立っています。全部の車がスピードを出している訳ではないですが、2、3台はスピードを出されています。大体の車は徐行して通行していますが、中にはスピードを出して行ったり、ウインカーを出さずに曲がったりもあります。

(職員②)

町道であれば町で実施できますが、県道、国道は町での対応が難しいため、ご了承いただければと思います。東佐賀病院前の道路については、拡幅は難しいということで、速度取締りが結構頻繁にあります。そういった取締りを進めていくとスピードを出させない対策になると考えています。拡幅となると立ち退き等で難しい面があります。要望については、区長さんを通じて町にお願いするような形にしております。区長さんから要望をいただいて、予算の範囲で危険度の高い場所から優先的に対策を進めています。

(町長)

みやき町の場合が区長さんからの要望をスタートにしているため、区長さんから出していただく

のが1番有効です。要望の場所を地区別に分けて、区長さんにお話していただくと流れに乗っていくと思います。北茂安と三根も含めたみやき町全体のPTAからの要望書であれば、その要望を受け付けた学校教育課や建設課から区長さんに要望をお願いすることもあろうかと思います。中原だけだとすると、各区長さんから上げていただくという形のほうが良いと思います。

(PTA②)

分かりました。では、そういった形でまとめて進めたいと思います。各区長にお願いをして、要望という形で役場に提出しようと思います。

次に、二つ目のみやき町総合計画の基本構想について、ターゲットをどこに置いているのかというところをお聞きしたいと思います。みやき町は健幸長寿のまち、子育て支援のまちですので、ターゲットは高齢者や子育て世代かと思いますが、今回の総合計画でのターゲットを教えてください。

(町長)

総合計画は、町の最上位計画ですので、ターゲットは絞るべきではなく、全方位であるべきだと思っています。その中で、未来に躍動する「共感」「協働」のまちをキーワードにしています。要は、住民さんがみやき町をつくるということです。住民さんと一緒に役場は動きながら、高齢者から子どもまで幸せなまちづくりをやっていくという意気込みを載せるのが総合計画だと思います。その下の、例えば子育て計画や高齢者福祉計画のところで、ターゲットを絞って頑張っていくという位置づけであるべきだと思っています。

(PTA②)

ありがとうございます。私が想定していたものは、最上位計画の下の部分だろうと聞きながら思いました。また、総合計画策定のためのアンケートを取っていると思います。基本構想に載っているアンケートの定住意向について「あなたは、これからもずっとみやき町に住み続ける予定ですか。」という部分に違和感があります。持ち家の人はみやき町に住み続けるし、引っ越さないのに、持ち家ではない人たちや高校生、大学生にアンケートを取るとしても一つのやり方かなと思いました。

(職員④)

みやき町では、定住促進住宅を実施しています。退所される方にアンケートを取っており、退所の理由などを分析しています。町営の住宅に関しては分析をすることができますが、民間の方になるとできていません。アンケート結果では、自宅を建てるために退所されて、みやき町がよかったので、そのまま住むという方がほとんどです。今後もできる限り定住促進に向けて、努力をしたいと思います。

(PTA②)

ありがとうございます。子育て世代で家を建てたいという希望を持っている方は多いと思います。そういう方に対して、先ほど言われたように、定住促進の施策があつて、家を建てるときにみやき町に定住してもらえればいいのかと思います。

(町長)

佐賀新聞の企画で、佐賀未来発見塾というものがありました。各中学校3校から3人ずつ選ばれた子どもたちが、新聞記者と一緒にみやき町を調べて、みやき町がこういうふうになったらいいなというのを町長にプレゼンするという企画でした。最後に、今後もみやき町住みたいですかという質問があり、子どもたちのほとんどは出ていくという回答でした。将来、この子たちにみやき町を選んでもらえるように、定住促進の取り組みは今後も必要になっていくと思いました。みやき町は

少しずつ人口が増えていますが、久留米も含めた同じ経済圏の中で、一時的にみやき町を選んでもらい、人口が増えている状況です。しかし、日本の人口は減少し、このエリア全体の人口の分母は減少していますので、このエリア内で勝っていただけでは駄目だと感じています。いかに、福岡都市圏や関西圏、関東圏からの移住者を増加させることできるかが次の課題だと思います。

(PTA③)

県の会議で他市町の母親委員に、みやき町の良さが書いてある一覧表はないのかと聞かれました。いろんな方々からご意見をいただくので、みやき町はこうだと言えるものがあつたらいいなと思います。

(町長)

もう一つ外側から、いかに人を呼び込んでいくかとなったときには、アピール力が必要だと思っています。引っ越して来てくれた方々には、それぞれ理由はあると思うので、そういうものを集めて、アピールしていかなければいけないという思いはあります。

(副町長)

みやき町は鳥栖に近くて、家は鳥栖に建てるよりも安く建てられますし、いろんな施策が充実しています。比べたら魅力があつて、核となる場所の周辺にあるという地理的な良さ、生活のしやすさを感じます。そういったところは、非常にみやき町の魅力で、先ほど町長が言われた佐賀未来発見塾では、自然が豊かで、人のつながりや温かさがあつて、自分たちはそういうところを大切にしていきたいと町長に提言されていました。そういったところが、みやき町は非常に恵まれていると思います。

(町長)

佐賀未来発見塾で中学生にこのような質問をしました。人口を増やし続けるのはすごく労力とお金を費やしており、学校給食の無償化も、1億に近いお金を毎年使っています。では、日本全体の人口が減る中で、みやき町は人口が増え続けた方が良くかと質問をしました。そうしたら、今くらいで良いという答えが多数派でした。環境を壊したりするよりは、今のみやき町でいいのではないかとという答えでした。しかし、一方では、発展してほしいというような意見もありますので、両立していかなければいけないと思います。子どもたちがみやき町の良さだと思っている部分は守っていかなければいけないし、開発によりそれを損なうことはみやき町の一つの魅力を失うことになると思います。そういうバランスが必要だと気づかせてもらいました。

(PTA②)

ありがとうございます。最後に、テーマ3は児童・保護者に係る保険等給付制度についてです。保険が色々あるため、どのような時にどのような保険が適用されるかを私も含めて、知らない保護者が多いと思いました。保険について、何らかの形で周知いただきたい。周知していただかないと、全国町村会総合賠償補償保険やみやき町町民活動保険が使えるのに、登下校中の旗当番時に保険に入っていないと思われる保護者もいます。また、サポート隊に登録してもらわないと保険適用されないので、一度各区で名簿を整理する必要があると思います。旗当番をしている人が登録されていないという事態は避けた方がいいのかなと思っていますので、対応をお願いしたいと思います。この話は、中原の各区長さんにはお願いをされていて、子どもクラブ会長には、保護者を登録してくださいと伝えていきます。

(職員①)

ありがとうございます。毎年、区長さんにはサポーターが交代される際に、保険適用になりますので、登録のやり直しをしてくださいとお願いはしています。

(PTA④)

区長さんに話をするときには、保険に関して内容が分かる書類は渡されていますか。区長さんから子どもクラブの会長を通じて話が来ますが、旗当番時の保険があるから名前書かないといけないと言われても、その内容自体が分かりません。

(職員①)

区長さんには社会教育課から渡していますが、書類が区長さんに留まるのではなく、PTA 会長や子どもクラブ会長にお渡ししてもらえるようにしたいと思います。

(職員②)

全国町村会総合賠償補償保険とみやき町町民活動保険は別の保険です。全国町村会総合賠償補償保険は町主催の行事等に対する保険になります。みやき町町民活動保険はボランティア団体等での活動に対する保険になっています。

(PTA④)

住所要件はありますか。

(職員②)

過半数以上が町民で構成された団体であることが要件です。

(職員⑤)

以前は全国町村会総合賠償補償保険しか加入していませんでしたが、ボランティアをしている人や町が主催ではない活動をしている団体の方々が、怪我した時に対応できないという話になりました。

(職員②)

みやき町町民活動保険は、自分たちで独自に活動されている中で、保険に加入していない団体もあります。そういう方々の補償をできるようにみやき町町民活動保険に加入しています。

(PTA②)

全国町村会総合賠償補償保険というのがあって、それで補填されない分をみやき町町民活動保険というもので補填しますということですね。町報などで4月でなく、新入生説明会とかがある12月ぐらいに合わせて、町報に載せてもらったら、新入生説明会で町報を見てくださいというような説明ができます。

5. 閉会

(町長)

今年始めたばかりの、タウンミーティングですが、PTAの方々とお話しするには少し時間が短かったという気がします。今後も、このような意見交換はずっと重ねていく、みやき町でありたいと思っていますので、また申込みいただければと思います。どうもありがとうございました。